

令和3年度県立学校学校評議員の報告

沖縄県立沖縄高等特別支援学校

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和3年12月5日	場所	本校会議室	出席状況	4名出席／5名中
第2回	日時	令和4年2月24日	場所	本校会議室 オンライン回答	出席状況	2名出席／5名中 5名回答／5名中
第3回	日時		場所		出席状況	

2 学校評議員に求めた事項

- ・学校経営方針、学部・寄宿舎等の取り組みについて
- ・学校の情報発信について
- ・学校行事「第31回沖高特祭」
- ・築30年以上の校舎について
- ・学校評価のアンケート結果について
- ・学校給食について

3 学校評議員の意見

- ・地域公民館や小学校へのボランティア活動継続の要望
- ・PTA活動の活性化
- ・障害者雇用制度や進路先の理解について(制度改正に伴う理解の難しさや外部専門家活用など)
- ・教師の生徒への対応について(すぐ助け船を出さず見守りに徹する。生徒との距離感。メリハリなど)
- ・子どもの貧困問題について(女性障害者の生理対応や用品について)
- ・特別指導について(指導内容の理解や叱り方の工夫)
- ・定員増について(特別な支援を要する児童生徒が増えている地域の実情と課題分析や整理が必要)

4 学校運営に反映した事項

- ・地域公民館への年間を通した植栽ボランティア、子ども食堂等への生産野菜の提供、市内小学校との草花交流
- ・キャリア教育の視点で、卒業生や就労支援コーディネーターによる進路講話、就業体験報告会、企業向け学校見学会、在校生対象企業説明会等を企画実施し、望ましい勤労観の育成と進路先の理解に努めた。
- ・本校女生徒の「生理の貧困」実態把握に基づく、PTAと連携した女子トイレ各個室への生理用品常備。レッドボックスの活用。
- ・自立活動や道徳の視点による特別指導の実践。問題行動の昨年度比で減少。

5 課題その他

- ・30年余の伝統と全寮制、全員就職を柱とした本校の“価値”を正しく伝えることで、軽度知的障害のある志願者が集まる「選ばれる学校づくり」の体制構築。
- ・本校生徒特有の悩みや心の問題、進路の問題等の改善に資するため、学校評議員に当事者(卒業生)を迎え入れ、全員就職・明るい学校・楽しい寄宿舎生活の実践推進。